

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20724
事業名	道路用地処理費					
評価担当課	所属名	建)総務部 道路認定課				
	課長名	東美伸	担当者名	久保万里亜	電話番号	211-2457
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	生活道路を適正に維持管理するため。			
		長期	生活道路を適正に維持管理するため。			
	取組内容	生活道路の道路区域内に存する私人名義の土地(以降「未処理用地」という。)について、地権者からの寄附等により権原(所有権、使用貸借権等)を取得する。 なお、権原取得のために必要な場合には分筆測量を行うほか分筆測量や支障物件の撤去に係る補償を実施する。				
	実施結果	令和3年度は、1.9haについて権原を取得。				
事業実施における工夫点	未処理用地の権原取得を少しでも増やすべく、土地の現況や所有者の情報、過去の経緯等を精査のうえ、寄附の可能性があると見込まれる土地について、地権者に対して寄附依頼を行っている。					
対象者	市民	開始	0年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法、札幌市未処理用地権原取得事務要領					
他都市の状況	多くの他都市において、本市と同様、道路区域内に権原を取得していない土地が存在しており、寄附等により権原の取得を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	9,586	15,112	11,158	15,112
うち特定財源	0	0	0	0
人工	5.0	5.0	5.0	5.0
人件費	36,000	36,000	36,000	36,000
計(事業費+人件費)	45,586	51,112	47,158	51,112
事業費の内訳	令和3年度決算	分筆測量等の委託費6,991千円 分筆測量及び支障物件撤去の補償費 3,627千円 その他 539千円		
	令和4年度予算	分筆測量等の委託費 5,200千円 分筆測量及び支障物件撤去の補償費 7,400千円 その他 2,512千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	未処理用地等取得面積			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	0.4ha	2.0ha	1.9ha	2.0ha	
活動指標2	指標名	未処理用地等処理件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	37	30	37	30	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度は年度は、1.9haの未処理用地等の権原を取得した。取得した未処理用地等の部分については、適正な道路整備及び維持管理が可能となった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市全体の未処理用地は約44haに上り、この未処理用地について寄附により取得しているものである。他都市でも同様の事業を行っているが、寄付に伴う分筆測量費や支障物件撤去費を、本市が必要最小限負担することにより権原が取得できていることから、本事業の事業規模は適切であると考ええる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	未処理用地の発生原因や現在に至るまでの経過は様々であって、寄附受理に至るまでに長時間を要するケースが多いため、地権者が土地利用を検討する機会を捉えて折衝している現在の手法が、現実的でありまた効果的かつ効率的である。なお、分筆測量業務は外部委託しているが、事業の実施主体についても適切と考えている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	未処理用地の取得により、道路整備やライフラインの敷設等生活環境施設の整備が促進され、地域住民の生活に寄与し、ニーズに応えるものである。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	財産に対する市民の権利意識が強まっていることや、相続発生による地権者の増加などにより権原の取得が難しくなっている状況にあるが、引き続き未処理用地の現況について精査を進めるとともに、地権者へ寄附を依頼していく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	未処理用地の早期解消を進めるべく、寄附の可能性が見込まれる土地の精査を進め、本市から地権者に対して寄附依頼を行っている。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	地権者の理解と協力を得ながら権原を着実に取得しており、成果が出ているものとする。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 今後も引き続き未処理用地の現況について精査を進めるとともに、地権者の理解と協力を得ながら権原を着実に取得していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 地権者の理解と協力を得ながらひたむきに継続的に進めていく事業であることから現状維持が妥当と考えている。		見直し効果額	0 千円